

## 7月5日湯浜地区天然ダムにおいて 投下型水位観測ブイで水位観測開始

平成20年7月18日  
(独) 土木研究所  
土砂管理研究グループ  
火山・土石流チーム

一迫川最上流の天然ダムである湯浜地区天然ダムは急峻な地形に位置し、アクセス道路が存在しないため、水位観測が困難であった。

このため、火山・土石流チームにおいて、投下型水位観測ブイを開発し、7月5日より水位観測を開始した。



～投下型水位観測ブイの結元～



大きさ (ブイ)	直径60cm、重さ20kg
(外枠)	80×80×80cm 重さ13kg
観測間隔	10分から24時間毎に設定可能 (東北地整河川部へ配信中)

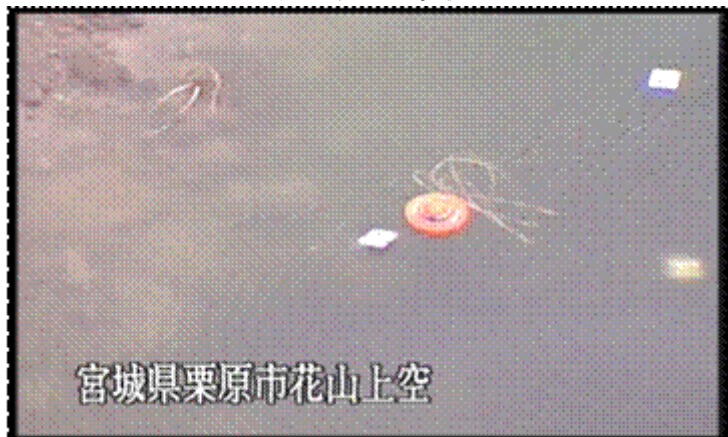


輸送状況



宮城県栗原市花山上空

吊り下ろし状況



宮城県栗原市花山上空

設置完了後の状況

土研式投下型水位観測パイ計測結果(7月7日6:00時点)

